令和5年度・第2回農業委員会総会議事録

開催日 令和5年5月26日（金） 13:00～14:30

開催場所 樋脇公民館

出席委員（18名）

議席番号	委員名	議席番号	委員名	議席番号	委員名
1	中原 良治	2	谷山 隆信	3	薬師寺 しげ子
4	新屋 純子	5	牧田 信一	6	小城 義己
7	木場 祐二郎	8	中島 弘和	9	下茂 正憲
10	木下 博英	11	乙須 紀文	12	有馬 康夫
13	永留 智史	14	山路 一浩	15	西—裕—郎
16	小園 光男	17	磯道 博和	18	梶原 拓二
19	別府 生次				

欠 員（0名）

欠席委員（1名）

遅刻委員（0名）

出席推進委員（17名）

議席番号	委員名	議席番号	委員名	議席番号	委員名
21	山下 武徳	22	福壽 久雄	23	濱田 義博
24	春田 実	25	上小川 文男	26	大田 実角
27	鶴屋 賢了	28	廣庭—吉辰	29	中川—大樹
30	馬渡 義文	31	田中 浩徳	32	竹田 栄次
33	永吉—康之	34	徳永 正幸	35	徳永 功
36	鬼塚 幸男	37	豊田—孝之	38	古川 梓
39	高木 成寛	40	早崎 麻美子	41	辻 孝一郎

欠席推進委員（4名）

事務局出席者 平局長・西局長代理・杉安主幹・梶原主幹兼G長・田上G員・
中城G員・川野職員

薩摩川内市農業委員会会議規則第14条の規定によって、ここに署名する。

議長（農業委員会会長） _____ ㊟

議事録署名者 _____ 1番 _____ ㊟

_____ 2番 _____ ㊟

議事録作成者 _____ 局長代理 _____ ㊟

令和5年度 第2回農業委員会総会議事録

議事日程「諸般の報告」

5 報 告

- 報告第 1 号 農地形質変更届の専決処分について
- 報告第 2 号 農地法第 18 条第 6 項の規定による合意解約通知の専決処分について
- 報告第 3 号 非農地証明発行の専決処分について
- 報告第 4 号 農地転用事実証明願の専決処分について

6 議 事

- 議案第 10 号 農業振興地域の整備に関する法律による農用地利用計画一部変更（区分変更）の意見決定について
- 議案第 11 号 農地法第 4 条の規定による農地等の転用許可申請承認について（知事処分）
- 議案第 12 号 農地転用事業計画変更申請の意見決定について（承継あり）
- 議案第 13 号 農地転用事業計画変更申請の意見決定について（承継なし）
- 議案第 14 号 農地法第 5 条の規定による農地等の所有権移転・売許可申請承認について（知事処分）
- 議案第 15 号 農地法第 5 条の規定による農地等の賃借権設定許可申請承認について（知事処分）
- 議案第 16 号 非農地証明願承認について
- 議案第 17 号 農地法第 3 条の規定による農地等の所有権移転・売許可申請承認について
- 議案第 18 号 農地法第 3 条の規定による農地等の所有権移転・贈許可申請承認について
- 議案第 19 号 農地法第 3 条の規定による農地等の使用貸借権設定許可申請承認について
- 議案第 20 号 農用地利用集積計画案（利用権設定）の意見決定について
- 議案第 21 号 農用地利用集積計画案（所有権移転）の意見決定について
- 議案第 22 号 農用地利用集積計画案（農地中間管理権設定）の意見決定について
- 議案第 23 号 薩摩川内市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の変更（案）について
- 議案第 24 号 令和 4 年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表（案）について

議案第 25 号 薩摩川内市立地適正化計画（防災指針）策定委員会委員の
推薦について

7 その他

- (1) 現地調査及び総会の日程等について
- (2) その他

【 13 : 00 開会】

会 長 第 1 回総会後の経過を踏まえて「あいさつ」

議 長 ただ今から、第 2 回薩摩川内市農業委員会総会を開催いたします。
局長に委員の出席状況を報告させます。

局 長 定数 19 名、現在員数 19 名、出席委員 18 名、欠席委員は 1
名で、15 番：西委員であり、欠席届が提出されております。
なお、本日出席の農地利用最適化推進委員は 18 名です。
以上で報告を終わります。

議 長 お聞きのとおり、本会は農業委員等に関する法律第 27 条第 3
項の規定により、出席委員は過半数に達しているため有効に成立
いたしました。それでは本日の総会を、会次第により進めて参り
ます。
まず、主要事務処理経過報告について、事務局の説明をお願いします。

局長代理 主要事務処理経過報告について説明いたします。

総会資料の 1 ページをご覧ください。

5 月 1 日に農業委員辞令交付式及び第 1 回農業委員会総会が本
庁舎 601 会議室で開催されております。

9 日に農地利用最適化推進委員委嘱状交付式、第 1 回農地利用
最適化推進会議が本庁舎 601 会議室で開催されています。

10 日は常設審議委員会がアートホテルかごしまで開催され、事
務局職員が出席しています。

11 日と 12 日が定例の現地調査、16 日が第 1 回運営委員会
を本庁舎 502 会議室で開催しております。

17 日が令和 5 年度市町村農業委員会会長・事務局長会議がマ
リンパレスかごしまで開催され、会長、事務局長が出席していま
す。

25 日が令和 5 年度薩摩川内市土地開発公社第 2 回理事会が

本庁舎 601 会議室で開催され、下茂会長代理が出席されています。

そして、本日第 26 回農業委員会総会が樋脇公民館で開催となっています。

なお、資料の主要事務処理経過報告は総会までですので、掲載していませんが、お知らせです。5 月 30 日～31 日にかけて、令和 5 年度全国農業委員会会長大会が東京都文京シビックホールで開催され、農業委員会会長、事務局長が出席されます。

以上、説明を終わります。

議長 主要事務処理経過報告が事務局よりございましたが、何か御質疑ございませんか。

委員 (なしの声あり)

議長 「なし」ということですので、主要事務処理経過報告を終ります。次は、議事録署名者の選任ですが、こちらの方で指名してよろしいでしょうか。

委員 (はいの声あり)

議長 ご異議ございませんので、
1 番：中原 良治（なかはら りょうじ）委員
2 番：谷山 隆信（たにやま たかのぶ）委員にお願いいたします。

それでは、さっそく、会次第 5 の報告に入らせていただきます。

まず、報告第 1 号「農地形質変更届の専決処分について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

局長代理 報告第 1 号を説明いたします。資料は 2 ページをご覧ください。位置図、調査表は備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号 3 番から 6 番の 4 件です。登記地目 田 4 筆 5, 486.88㎡、の届出がありました。

内容といたしましては、いずれも、盛土して、畑にするための届出となります。

従いまして、現地調査の結果、被害防除計画に妥当性があると認められることから、薩摩川内市農業委員会 農地の形質変更に伴う周辺農地等への被害防止対策実施要領 3 の規定により、処理い

議長 質疑がありませんので、報告第4号を終わります。
それでは会次第6の議事に入ります。
先ず、議案第10号「農業振興地域の整備に関する法律による農用地利用計画一部変更（用途区分変更）の意見決定について」を議題とします。
事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第10号を説明いたします。資料は9ページをご覧ください。位置図・調査表は、備考欄をご参照ください。
今月の申請は、受理番号1番の1件で、登記地目 畑6筆3, 391㎡の申請がありました。
今般市長部局である農林水産部農政課から「農業振興地域の整備に関する法律施行規則第3条の2」の規定に基づき意見を求められたものです。
内容については、畜産を営んでいる申請人が、事業の規模拡大を図り、申請地に牛舎等を建設するため、農業用施設用地に用途区分変更したく申請をされたものです。
以上、審査の結果、農業振興地域の整備に関する法律第6条2項に規定する要件を満たしていることから変更が相当と判断し、提案いたしました。
なお、この後提案いたします議案第11号1番と同時申請です。
以上で議案第10号に係る説明を終わります。

議長 ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

谷山委員 2番谷山が、1番を報告します。
5月11日、西委員と事務局 長沼・中城職員と現地調査を実施しましたので、報告します。
位置図6ページ、調査表5ページをご覧ください。
台帳登記地目は、現況ともに畑です。
申請地の状況と目的は、市内で畜産を営む市の認定を受けた認定農業者が、農振農用地内の当該申請地に、畜舎と堆肥舎及びロール置場を建設する目的に係る農業用施設用途区分変更申請です。

このたび、農業用施設用途とする事で、西側に広がる農用地区域内の集団性、農作業及び農業上の効率的かつ、総合的な利用並びに、土地改良施設等の機能にも支障を及ぼす恐れが無いと判断したた

議長 ないようですので、一括して採決いたします。
議案第11号については、原案のとおり許可相当と意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 (挙手)

議長 賛成全員であります。議案第11号は、原案のとおり承認されましたので、許可意見を付して鹿児島県知事に書類を進達することに決定いたします。

次に、議案第12号「農地転用事業計画変更申請（承継あり）の承認について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第12号を説明いたします。資料は12ページをご覧ください。今月は、受理番号1番の1件の事業計画変更申請がありました。

内容といたしましては、1番は、令和4年11月15日付指令農振第1005-443号で、「宅地分譲」で農地法第5条転用売許可を受けていましたが、事業承継者が、今般、当該地を含む「共同住宅18棟、駐車場・通路・公園」の計画に伴い、承継して、事業計画変更するものです。

議案第13番1号及び議案第14号30番と同時申請となります。

以上1件、申請内容を転用許可法令一般基準、各項による書類審査及び現地調査を行い提案いたしました。

以上で議案第12号に係る説明を終わります。

議長 ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、事前に申請地の現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

下茂委員 9番、下茂が1番を報告します。

去る5月12日、有馬委員と事務局 長沼・中城職員と現地調査を実施しましたので、報告します。

位置図10ページ、調査表9ページをご覧ください。

申請地の現況は、転用許可を受け、造成され宅地分譲地となりました。

当初、宅地分譲として転用許可されて、現在に至っておりますが、地目変更を完了しておらず、今般、事業継承者が、当該地を含む、

記地目 田 3 9 筆 2 5, 4 9 4 m²、畑 4 筆 9 8 2 m²、合計 4 3 筆 2 6, 4 7 6 m²の申請がありました。

内容について説明いたします。

受理番号 2 1 番から 2 3 番は、一般住宅・建売住宅と通路の目的で申請されるものです。

2 4 番は、自宅への道路が狭いため、安全確保のための通路の申請です。

2 5 番は、共同住宅と駐車場の申請です。

2 6 番は、議案第 1 1 号 2 番の貸資材置場及び貸駐車場への通路の申請です。また、一部施工済のため、始末書が添付されています。

2 7 番は、宅地分譲の申請で仮換地実測 1, 5 7 2. 5 3 m²となります。

2 8 番は、店舗付住宅の申請で 1 6 2 5 番 宅地 仮換地実測 2 0 4. 7 1 m²と一体利用で仮換地実測総面積 2 4 1. 9 7 m²となります。

2 9 番は、宅地分譲と通路の申請です。

3 0 番は、共同住宅 1 8 棟・駐車場・通路・公園の申請で議案第 1 2 号 1 番及び議案第 1 3 番 1 番と同時申請となります。

3 1 番は、事務所兼店舗と駐車場及び宅地分譲の申請です。

3 2 番は、一般住宅の申請です。

以上 1 2 件、申請内容を転用許可法令一般基準、各項による書類審査及び現地調査を行い提案いたしました。

以上で議案第 1 4 号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、事前に申請地の現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

下茂委員 　　2 1 番を報告いたします。調査日・調査員は報告のとおりです。位置図につきましては 1 1 ページ調査表につきましては 1 0 ページをご覧ください。申請地の現況は畑ですが舗装はされておられません。申請書に添付しております計画書には妥当性があり現地調査の内容は報告書に記載してあるとおりです。以上のようなことから 2 1 番の申請は農地法関係法令には抵触せず承認が相当と判断しました。以上です。

永留委員 　　1 3 番、永留が 2 2 番を報告します。
調査日、調査員は先ほどのとおりです。
位置図 1 2 ページ、調査表 1 1 ページをご覧ください。
申請地の現況は畑で保全管理されていました。

申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。

以上のことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

薬師寺委員

23番を報告いたします。去る5月12日永留委員と事務局西局長代理と現地調査を実施しましたので報告いたします。

位置図13ページ調査表12ページをご覧ください。申請地の現況は田で耕作されていません。建売住宅8棟通路としての転用目的です。

申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、報告書に記載してあるとおりです。

以上のようなことから申請は農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

永留委員

13番、永留が24、25番を報告します。

調査日、調査員は先ほどのとおりです。

24番は、位置図5ページ、調査表13ページをご覧ください。申請地の現況は田で保全管理されていまして。自宅までの道路が狭いため申請です。

25番は、位置図14ページ、調査表14ページをご覧ください。申請地の現況は田で耕作されていませんでした。共同住宅と駐車場の申請です。

それぞれ、申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。

以上のことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

下茂委員

26番を報告いたします。調査日、調査員は報告したとおりです。位置図につきましては7ページ調査表につきましては15ページをご覧ください。申請地の現況は畑ですが管理されております。申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。

以上のようなことから26番の申請は農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

永留委員

13番、永留が27、28、29番を報告します。

調査日、調査員は先ほどのとおりです。

27番は、位置図15ページ、調査表16ページをご覧ください。

申請地の現況は畑で保全管理されていました。宅地分譲6区画の申請です。

28番は、位置図16ページ、調査表17ページをご覧ください。

申請地の現況は畑で保全管理されていました。店舗付き住宅の申請です。

29番は、位置図17ページ、調査表18ページをご覧ください。

申請地の現況は畑で保全管理されていました。

宅地分譲3区画と通路の申請です。

それぞれ、申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。

以上のことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

下茂委員

30番を報告いたします。17ページから21ページまでありますので、お目通しください。調査日、調査員は報告書のとおりです。位置図につきましては10ページ調査表9ページをご覧ください。申請地の現況は田ですが先程報告しましたとおりです。申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、報告書に記載してあるとおりです。

以上のことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

永留委員

13番、永留が31、32番を報告します。

調査日、調査員は先ほどのとおりです。31番は、位置図18ページ、調査表19ページをご覧ください。

申請地の現況は田で耕作されていました。

事務所兼店舗、駐車場、宅地分譲区画の申請です。

32番は、位置図19ページ、調査表20ページをご覧ください。申請地の現況は畑で耕作されていませんでした。

一般住宅の申請です。

それぞれ、申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。

以上のことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

議長 　　ただ今、調査員の報告が終わりました。
　　質疑に入ります。御質疑ございませんか。

委員・推進委員 　　（なしの声あり）

議長 　　ないようですので、一括して採決いたします。
　　議案第14号については、原案のとおり許可相当と意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 　　（挙手）

議長 　　賛成全員であります。議案第14号は、原案のとおり承認されましたので、許可意見を付して鹿児島県知事に書類を進達することに決定いたします。

　　次は、議案第15号「農地法第5条の規定による農地等の賃借権設定許可申請承認について」を議題とします。

　　事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 　　議案第15号を説明いたします。資料は23ページをご覧ください。農地判定の根拠及び位置図・調査表につきましては、備考欄をご参照ください。

　　今月の申請は、受理番号33番の1件で、登記地目田2筆1,346㎡の申請がありました。

　　内容といたしましては、受理番号33番は、小売業を営む法人が、申請地を借り受け、店舗・駐車場の目的で申請されるものです。

　　281番 宅地 159.1㎡と一体利用で総面積は、1,505.1㎡となります。

　　以上1件、申請内容を転用許可法令一般基準、各項による書類審査及び現地調査を行い提案いたしました。

　　以上で議案第15号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、事前に申請地の現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

薬師寺委員 　　33番を報告いたします。調査日、調査員は先ほどのとおりです。位置図20ページ、調査表21ページをご覧ください。申請地の現況は田で耕作されていません。店舗・コンビニエンスストア・

議長 ないようですので、採決いたします。

議案第16号については、原案のとおり処分決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 (挙手)

議長 賛成全員であります。議案第16号「非農地証明願承認について」は原案どおり決定されました。

次は、議案第17号「農地法第3条の規定による農地等の所有権移転・売許可申請承認について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

なお、農業委員会等に関する法律第31条「議事参与の制限」に関する議案は、受理番号23番です。

先ず議事参与案件を除く案件について審議いたします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第17号を説明いたします。資料は25ページから27ページをご覧ください。位置図・調査表につきましては、備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号17番から26番の10件で、田16筆9,666㎡、畑3筆1,173㎡、合計19筆10,839㎡の申請がありました。

議事参与案件を除く案件について説明いたします。

議事参与案件を除く、受理番号17番から22番及び24番から26番の申請理由は、譲受人の「規模拡大」、「営農開始」、譲渡人の「労力不足」、「相手方の要望」により、それぞれ売買されるものです。

24番、26番は、新規営農のため、営農計画書が添付されています。

申請内容を農地法第3条第2項各号に規定する、農地の取得要件について審査いたしました結果、機械力・労働力・技術力に係る全部効率要件、及び農作業従事日数、集団化、効率的且つ、総合的な利用に係る、地域調和要件の何れにも抵触しないと認められます。

従いまして、何れの申請地も農地以外の目的で売買されるものではありません。

以上のようなことから、申請は許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。以上で、議案第17号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

下茂委員 　　17番と18番を報告いたします。調査日、調査員は報告のとおりです。17番位置図24ページ、調査表25ページをご覧ください。申請地の現況は田で現在も耕作されるようになっていました。権利取得書は規模拡大のための権利取得で水稻を栽培予定です。

　　続いて18番を報告いたします。位置図24ページ、調査表26ページをご覧ください。水稻を予定されております。権利取得書は規模拡大のための権利取得で水稻予定ですが、意欲も高く問題もなく申請は許可相当が妥当と考えます。以上です。

永留委員 　　13番、永留が、19番から22番を報告します。調査日・調査員は先ほどのとおりです。

　　19番は、位置図25ページ、調査表27ページをご覧ください。申請地の現況は、田で耕作されてきました。

　　20番は、位置図26ページ、調査表28ページをご覧ください。申請地の現況は、田で耕作されてきました。

　　21番は、位置図27ページ、調査表29ページをご覧ください。申請地の現況は、田で保全管理及び耕作されてきました。

　　22番は、位置図28ページ、調査表30ページをご覧ください。申請地の現況は、田で保全管理及び耕作されてきました。申請はいずれも規模拡大のための権利取得で、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題なく、申請は許可相当と考えます。以上です。

薬師寺委員 　　24番を報告いたします。調査日・調査員は先ほどのとおりです。位置図30ページ、調査表35ページをご覧ください。申請地の現況は、畑ですがこれから営農に活用していく予定で営農計画書が添付されております。野菜を栽培予定で経営意欲も高く全部効率要件及び地域調和要件とも共に問題なく申請は許可相当と考えます。以上です。

木場委員 　　7番、木場が、25番を報告します。

　　調査日・調査員は先ほどのとおりです。

　　25番は、位置図31ページ、調査表33ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で保全管理及び耕作されていました。規模拡大のための権利取得で、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題なく、申請は許可相当と考えます。

以上です。

中島委員 26番を報告いたします。5月11日に梶原委委員と事務局長沼・中城職員と現地調査をしました。調査表は34ページ、位置図は32ページをご覧ください。申請地の現況は田で耕作されていませんでした。

権利取得者は新規就農のための権利取得で営農計画書が添付されております。経営意欲も高く全部効率要件及び地域調和要件ともに問題なく、申請は許可相当と考えます。以上です。

議長 ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議長 ないようですので、一括して採決いたします。
議案第17号受理番号23番の議事参与案件を除く、受理番号17番から22番、24番から26番につきまして、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 (挙手)

議長 賛成全員であります。議案第17号、議事参与案件を除く受理番号17番から22番、24番から26番は原案のとおり意見決定されました。

次は、議案第17号受理番号23番について審議に入ります。永留智史委員は、農業委員会等に関する法律第31条「議事参与の制限」を受けますので、退席をお願いします。

永留委員 (退席・退室)

議長 議案第17号受理番号23番につきまして、事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 農業委員会等に関する法律第31条「議事参与の制限」を受け
る議案第17号受理番号23番の譲受人が、当委員会農業委員の

永留智史委員ですので内容説明いたします。資料は26ページをご覧ください。

申請内容を農地法第3条第2項各号に規定する、農地の取得要件について審査いたしました結果、機械力・労働力・技術力に係る全部効率要件、及び農作業従事日数、集団化、効率的且つ、総合的な利用に係る、地域調和要件の何れにも抵触しないと認められます。

従いまして、何れの申請地も農地以外の目的で売買されるものではありません。

以上のようなことから、申請は許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。以上で、説明を終わります。

議長 　ただ今、事務局の説明が終わりました。
ここで、申請地を事前に現地調査を行っておりますので、調査員の報告をお願いします。

薬師寺委員 　23番を報告いたします。調査日・調査員はさきほどの報告と同じです。位置図29ページ、調査表31ページをご覧ください。申請地の現況は田で耕作されています。権利取得者は規模拡大の為の権利取得で水稻を栽培予定で経営意欲も高く全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく申請は許可相当と考えます。以上です。

議長 　ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 　（なしの声あり）

議長 　ないようですので、採決いたします。
議案第17号受理番号23番に係る議事参与案件は、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 　（挙手）

議長 　賛成全員であります。議案第17号、受理番号23番に係る議事参与案件は原案のとおり意見決定いたします。
永留委員の入室をお願いします。

高橋委員 　（入室・着席）

議長 議案第17号は、原案のとおり許可することに決定いたします。
次は、議案第18号「農地法第3条の規定による農地等の所有権移転・贈許可申請承認について」を議題とします。
事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第18号を説明いたします。資料は28ページから30ページをご覧ください。位置図・調査表につきましては備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号27番から33番の7件で、登記地目田16筆8,007㎡、畑11筆3,755㎡、合計27筆11,762㎡の申請がありました。

申請理由といたしましては、いずれも「親子間」、「知人間」の贈与によるものです。

申請内容を農地法第3条第2項各号に規定する、農地の取得要件について審査いたしました結果、機械力・労働力・技術力に係る全部効率要件及び農作業従事日数、集団化、効率的かつ総合的な利用に係る地域調和要件の何れにも抵触しないと認められます。

従いまして、いずれの申請地も農地以外の目的で贈与されるものではありません。

以上のようなことから、許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。

以上で、議案第18号に係る説明を終わります。

議長 ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

下茂委員 27番から29番を報告いたします。調査日・調査員は報告のとおりです。27番は位置図33ページ・調査表36ページをご覧ください。営農計画書が添付されております。現地は田ですが、少し荒れておりましたので改造が必要だと判断しました。権利取得者は規模拡大のための権利取得と主張しております。経営意欲も高く全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく申請は許可相当と考えます。

続いて28番位置図33ページ・調査表36ページをご覧ください。これは5年以上継続して耕作する契約です。調査表の5件の田んぼと畑を書いておりますが一番下の5402番629は現在も耕作中ですがあとは耕作されておりました。権利取得者は規模拡大のための権利取得で水稻を栽培予定で経営意欲も高く全部

効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく申請は許可相当と考えます。

29番を報告いたします。位置図34ページ・調査表37ページをご覧ください。申請地の現況は田と畑となっておりますが一番下の田が管理中畑は耕作されておりました。権利取得者は規模拡大のための権利取得です。水稻を栽培予定で経営意欲も高く全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく申請は許可相当と考えます。以上です。

永留委員 13番、永留が、30番を報告します。調査日・調査員は先ほどのとおりです。30番は、位置図35、36ページ、調査表38ページをご覧ください。申請地の現況は、田で保全管理及び耕作されておりました。申請は、規模拡大のための権利取得で、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題なく、申請は許可相当と考えます。以上です。

薬師寺委員 31番と32番を報告いたします。調査日・調査員は先ほどのとおりです。31番・32番譲受人は同じ方です。31番を報告いたします。位置図21ページ・調査表39ページ、32番位置図21ページ・調査表40ページをご覧ください。

申請地の現況は畑で現在も耕作されています。権利取得者は規模拡大のための権利取得で野菜・みかん・果樹を栽培予定で経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題なく、申請は許可相当と考えます。以上です。

磯道委員 33番を報告いたします。去る5月10日廣庭推進委員、振興局の和田職員と現地調査を行ったので報告いたします。位置図37ページ・調査表40ページをご覧ください。申請地の現況850-1は畑で現在耕作されています。832-1は田で現在耕作されておりましたが営農計画書店舗付きです。権利取得者は規模拡大のための権利取得で野菜を栽培予定で経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題なく、申請は許可相当と考えます。以上です。

議長 ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議長 ないようですので、一括して採決いたします。

議案第18号については、原案のとおり処分決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 (挙手)

議長 賛成全員であります。議案第18号は、原案のとおり許可することに決定いたします。

次は、議案第19号「農地法第3条の規定による農地等の使用貸借権設定許可申請承認について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第19号を説明いたします。資料は31ページから32ページをご覧ください。位置図・調査表につきましては備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号34番の1件で、登記地目 田8筆4, 492㎡、畑11筆11, 589㎡、合計19筆16, 081㎡の申請がありました。

申請理由といたしましては、ソバを耕作するため、新規営農を計画している法人の申請となります。

事前の相談の中で、耕作している上部を利用し、営農型太陽光発電設備を別事業者が設置する予定ですが、今般、資料の現況欄の下に記載のとおり、農業委員会で実施する利用状況調査の遊休農地化している農地を復元し、営農を始める計画です。

法人の目的は、地元の農地が遊休農地化していることを解消できないかと検討しており、上部で太陽光発電施設をすることで、設置事業者から法人へ管理料を受けることができ、安定的に法人運営ができる仕組みで取り組む計画であります。

よって、法人への所有権移転が可能な農地所有適格法人とはならず、備考欄に記載のとおり、解除条件付きの農地の使用貸借での営農開始となります。

また、農作業については、地元の農業者に協力を得ながら、農作業受託で実施するものです。

代表は、伊佐市在住ですが、営農開始する樋脇地域で協力していただける農業者の確保を図るとのことでした。

荒廃農地であるため、5年以上継続して耕作する旨の誓約書も添付しております。また、営農計画では、農地復元のため、1年から2年で種まきができる状態にする計画でもあります。

申請内容を農地法第3条第2項各号に規定する、農地の取得要

件について審査いたしました結果、機械力・労働力・技術力に係る全部効率要件及び農作業従事日数、集団化、効率的かつ総合的な利用に係る地域調和要件の何れにも抵触しないと認められます。

従いまして、いずれの申請地も農地以外の目的で贈与されるものではありません。

以上のようなことから、許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。

以上で、議案第19号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

木場委員 　　7番、木場が、34番を報告します。
調査日・調査員は先ほどのとおりです。
25番は、位置図38ページ及び39ページ、調査表33ページをご覧ください。

申請地の現況は、すべて、耕作放棄地であり、資料の現況の下段に記載のとおり、利用状況調査で緑・赤判定している農地です。

申請者において、農地復元し、ソバを栽培予定です。荒廃農地のため、伐根等の農地復元作業を行い、事務局から説明のとおり、1年から2年後に耕作を開始する営農計画書が添付されています。また、営農型太陽光を計画されており、耕作者と連携しながら、時期をみて、農地転用が提出されるものと思われませんが、今回、遊休農地の解消が図られることや、新規参入に伴う営農計画書等を確認した結果、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題ないと思われま

す。また、一般法人であり、解除条件付きの契約書が別途添付されており、耕作されない場合、契約を解除できることとなっていますので、申請は許可相当と考えます。以上です。

議長 　　ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 　　はい。議長。18番梶原です。位置図を見る限り何か所にもまたがって場所が広がっていますが、耕作をして、その後太陽光発電をするのは非常に効率が悪いように感じます。

あと、伊佐市の会社がなぜさつま町を通り越して薩摩川内市の樋脇町なのか、その説明をお聞きしたいです。

梶原主幹 まず農地が分散していて効率的ではないのでは、との事についてですが、以前申請者と話す機会がありその件を聞いたところ、先ほど説明したとおり申請者の目的は営農よりも遊休農地化している農地を少なくしていきたいというのが主な目的でありそば作りを考えているとの事です。

伊佐市の会社がなぜさつま町を通り越して薩摩川内市の樋脇町なのかの回答は薩摩川内市のコンサル会社が間に入っているらしく一緒に土地探しを行ったところ薩摩川内市の土地が見つかった。伊佐市の土地も同時に探していたが、うまくいかず薩摩川内市のみ土地となった。

伊佐市から距離があるので耕作していくのは支障があるのではないかということですが、農作業受託で作業をする考えである。樋脇町の農業者に協力を図ってそば作りをしていくとの事です。以上です。

議 長 よろしいですか。

委員・推進委員 はい。

議 長 ほかにご質疑ございませんか。

委員・推進委員 はい。農業の適格化法人ではないということですか。

梶原主幹 農地所有適格法人ではないということです。農地所有適格法人というのは農地等の権利を取得して農業を行うことのできる法人です。

今回は農地管理料で法人の運営をほぼ賄うこととなります。そば作りの売上は全部売れたとしても法人を支えるほどの売上にならないので、農地管理料との両方で法人を支えていく。との事です。以上です。

議 長 よろしいですか。

委員・推進委員 はい。

議 長 ほかにご質疑ございませんか。

委員・推進委員 はい。13番永留です。

農作業受託との事です、受託先は決まっているのですか。

梶原主幹 受託先は伊佐市の認定農業者の方は決まっているようです。
樋脇町に関しましては今探しているとの事です。

今年、許可が出たら農作業をする前に伐根等をいていくの
ですが、そちらのほうは太陽光発電の設置会社と協力して進め
ていくようです。農作業受託は早急に樋脇町の農業者をメイン
に探していくとの事です。早急に探してくださいとは伝えてあ
ります。以上です。

議 長 よろしいですか。

委員・推進委員 はい。

議 長 ほかにご質疑ございませんか。

有馬委員 はい。12番有馬です。
太陽光発電のパネルを置いてから、そばの栽培をするという
ことですか。

梶原主幹 そういうことになります。

有馬委員 わかりました。

梶原主幹 今回はそば作りをする営農計画ということになります。
太陽光発電の申請は完了申請が出たあとに出てくる予定に
なっています。農地として営農して、その上部を使用する
ということになります。以上です。

議 長 よろしいですか。

委員・推進委員 はい。

議 長 ほかにご質疑ございませんか。

ないようですので、一括して採決いたします。

議案第19号については、原案のとおり処分決定することに賛
成の方の挙手を求めます。

全 委 員 (挙 手)

議長 賛成過半数であります。議案第19号は、原案のとおり許可することに決定いたします。

次は、議案第20号「農用地利用集積計画案（利用権設定）の意見決定について」、農業経営基盤強化促進法第18条第1項に基づき市長部局より提出されましたので、当委員会の意見について審議を求めるものであります。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第20号を説明いたします。資料は33ページから37ページをご覧ください。

今月の申請は、田15,417㎡、畑18,650㎡、合計34,067㎡の申請がありました。

利用権設定13件中、認定農業者等に係わる分は1件です。

申請内容を農業経営基盤強化促進法第18条第3項の規定に基づき審査いたしました結果、申請は許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。以上で、説明を終わります。

議長 ただ今、事務局の説明が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 8番中島です。19号と20号の方は22歳でお若いようですが地域就農者なのでしょうか。露地野菜の賃借料が平均に比べて高いようなイメージがあったので質問いたしました。

梶原主幹 この申請者の方は地域就農者でサツマイモを作る計画で今の都町と出水市でもされるとの事です。

議長 よろしいですか。

委員・推進委員 はい。

議長 他にございませんか。

委員・推進委員 ありません。

議長 ないようですので、一括して採決いたします。
議案第20号につきまして、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全 委 員

(挙 手)

議 長

賛成全員であります。議案第20号は原案のとおり意見決定されましたので、薩摩川内市長へ許可意見を付して書類送達することといたします。

次は、議案第21号「農用地利用集積計画案（所有権移転）の意見決定について」、農業経営基盤強化促進法第18条第1項に基づき市長部局より提出されましたので、当委員会の意見について審議を求めるものでございます。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹

議案第21号を説明いたします。資料は38ページから39ページをご覧ください。

今月の申請は1件で、田557㎡、畑765㎡、合計1,322㎡の申請がありました。

所有権移転1件、認定農業者であり、かつ申請地は農業振興地域の整備に関する法律に規定する、農業振興地域内の農用地区域内農地であり、認定農業者の要件に係る農業経営改善計画による規模拡大のため、農業経営基盤強化促進法等の一部改正がありました。地域計画を計画するまでは、改正前の農業経営基盤強化促進法第21条第1項に規定する「不動産登記法の特例」による嘱託登記することができます。

申請内容を農業経営基盤強化促進法第18条第3項の規定に基づき審査しました結果、申請は許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。以上で、説明を終わります。

議 長

ただ今、事務局の説明が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員

(なしの声あり)

議 長

ないようですので、一括して採決いたします。
議案第21号につきまして、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全 委 員

(挙 手)

議 長

賛成全員であります。議案第21号は、原案のとおり意見決定

されましたので、薩摩川内市長へ許可意見を付して書類送達することといたします。

次は、議案第22号「農用地利用集積計画案（農地中間管理権設定）の意見決定について」、農業経営基盤強化促進法第18条第1項に基づき市長部局より提出されましたので、当委員会の意見について審議を求めるものでございます。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第22号を説明いたします。資料は40ページから48ページをご覧ください。

今月の申請は、田33,662㎡、畑21,632㎡、合計55,294㎡の申請がありました。

管理権設定45件中、認定農業者等に係る分は43件です。

申請内容を農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項各号の規定に基づき農用地利用の配分計画を審査いたしました結果、申請は許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。以上で、説明を終わります。

議長 ただ今、事務局の説明が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議長 ないようですので、一括して採決いたします。
議案第22号につきまして、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 (挙手)

議長 賛成全員であります。議案第22号「農用地利用集積計画案（農地中間管理権設定）の意見決定について」は、原案のとおり意見決定されましたので薩摩川内市長へ許可意見を付して書類送達することといたします。

次は、議案第23号「薩摩川内市農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針の変更(案)について」を議題といたします。

事務局の内容説明をお願いします。

事務局長 議案第23号 薩摩川内市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の変更(案)について説明いたします。

資料は、当日配布資料の1ページから6ページです。

それでは、1ページをお開きください。

この指針は、平成28年度の農業委員会等に関する法律が改正されたことに伴い、全国の農業委員会において、農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定に努めなければならないとされたものであり、薩摩川内市農業委員会においては、平成29年7月25日の総会において指針を定めております。

その指針の中で、農業委員及び推進委員の改選期である3年ごとに検証・見直しを行うとなっていることから、前回令和2年5月に見直ししたものを、今回、変更（案）を提案し、総会の議決を求めるものです。

今回、基本的な考え方や推進方法については、これまでの方法を踏襲し、目標については令和12年度を目標とし、前回の計画から3年後の令和7年3月、令和13年3月の目標を変更するものでございます。なお、前回計画からの変更及び追加の部分は、下線で示しています。

主な項目について、説明いたします。2ページ下段第2具体的な目標、推進方法及び評価方法

1 遊休農地の発生防止・解消についてですが、(1)管内の農地面積(A) 4, 110haに対し、遊休農地面積(B)の目標面積は、令和4年3月600.3ha、遊休農地の割合14.6%を、3年後の令和7年3月の目標面積は、382.2ha、遊休農地の割合9.3%に、令和13年3月の目標面積は、0ha、遊休農地の割合0%になるように計画しております。

約600haについて、当委員会においては年間63.7haの解消を目標としており、市農業政策課等と連携を図りながら、8年後にすべての遊休農地面積の解消を目指すこととします。

続いて3ページ下段 2 担い手への農地利用の集積・集約化について 担い手への農地の利用集積目標は、4ページになりますが、管内の農地面積(A) 4, 110haに対し、令和4年3月集積面積(B) 1, 172.2ha、集積率28.5%に、3年後の令和7年3月の目標面積は、2, 551.3ha、集積率62.1%に、令和13年3月の目標面積は、3, 669ha、集積率90%になるように計画しております。

当委員会においては年間186.3haの農地利用集約を目標としており、市農業政策課等と連携を図りながら、8年後に集積率90%の目標を目指すこととします。

続いて、(2)4ページの中段 担い手への農地利用の集積・集約化に向けた具体的な推進方法ですが、10年後の農業の在り方と農

地利用の将来像を描く地域計画の作成と見直しに取り組むこととして
ています。

具体的には、農業委員会が農地の利用意向調査等の結果を基に地
域計画の素案を作成することになっています。

続いて5ページ中段の 3 新規参入の促進について(1)新規参
入の促進目標は、令和4年3月の状況を踏まえ、個人は年間4人と
し、法人は年間1法人の新規参入を目指します。

平成7年3月の個人の新規参入者数は、個人の新規参入者は57
人、法人の新規参入者数は、52法人を目標を目指すこととします。
平成7年3月の個人の新規参入者取得面積は、63.6ha、法人の新
規参入者取得面積は、224.4haの目標を目指すこととします。

平成13年3月の個人の新規参入者数は、81人、法人の新規参入
者数は、58法人を目標を目指すこととします。平成13年3月の個
人の新規参入者取得面積は、75.0ha、法人の新規参入者取得面積
は、258.6haの目標を目指すこととします。

以上、議案第23号薩摩川内市農業委員会「農地等の利用の最適化
の推進に関する指針」の変更(案)に係る説明を終わります。

議 長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。
　　質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 　　(なしの声あり)

議 長 　　ないようですので、一括して採決いたします。
　　議案第23号につきまして、原案のとおり意見決定することに
賛成の方の挙手を求めます。

全 委 員 　　(挙 手)

議 長 　　賛成全員であります。議案第23号は、原案のとおり意見決定
されました。

　　次は、議案第24号「令和4年度農業委員会の農地利用の最適
化の状況その他事務の実施状況の公表について」を議題といたしま
す。

　　事務局の内容説明をお願いします。

事務局長 　　議案第24号 令和4年度農業委員会の農地利用の最適化の推
進の状況その他事務の実施状況の公表(案)について説明いたしま
す。資料は、当日配布資料 7 ページから13ページになります。

農業委員会法第37条に基づく情報の公表として、令和4年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表（案）を審議いただき総会の議決を求める議案であります。

それでは主なものについて、説明いたします。

8ページ1農業委員会の状況についてですが、1農業委員会の現在の体制と2農家・農地等の概要について、農家数、農業者数、経営数、耕地面積等を示しております。

続いて資料の9ページ中段の農地の集積の③実績ですが、今年度末の集積面積は、1,184.2haで、農地面積に対する集積率は、28.9%となっており、目標に対して、84.8%となっています。

点検結果としては、目標に対して、達成はできませんでしたが、概ね目標が達成されました。今後、集積率を上げるためには、新たな担い手の育成・確保を行うことが課題であります。

続いて10ページ上段の(2)遊休農地の発生防止・解消の③実績ですが、緑区分の遊休農地の解消実績面積は、40.1ha、目標に対する達成状況は、55.2%です。

前年度に新規発生した緑区分、いわゆる人力・農業用機械で草刈り、耕起、抜根、整地によりただちに耕作することが可能な土地の遊休農地の解消実績面積は、29.3haです。令和4年度の農地の利用状況調査による遊休農地の面積は、600.1haで、緑区分の遊休農地は363.4ha、黄区分、大規模な整備、重機等の使用により利用可能な土地の遊休農地は、236.7haです。点検結果としては、有効利用できる農地は、有効利用できるよう推進するとともに、再生利用が困難と思われる農地は、非農地の取り扱いを進めました。

続いて11ページ下段、(3)新規参入の促進ですが、③実績の参入経営体数は、5経営体で、取得農地面積は、3.7haです。前年度と比較し、1経営体の増で、面積は1.8ha増となっています。状況としては、農業者全体の高齢化及び担い手の伸び悩み等で、後継者不足が深刻な状況であります。

資料の11ページ中段、2最適化活動の活動目標(2)活動強化月間の設定の②実績は、設定回数は3回で、農地の取得、遊休農地の解消、新規参入の推進に取り組みました。

次に資料の12ページ中段、(3)新規参入相談会への参加②実績は、参加予定者の体調不良により、参加できませんでした。

続いて、目標の達成状況の評語は、目標に対し、期待を上回る結果が得られました。各評語別の結果は、目標に対し大幅に上回る結果は、7人、期待を上回る結果は20人、期待どおりの結果が得られた場合は12人、期待をやや下回る結果が1人となりました。委員皆様の日頃からの積極的な活動により、今回の結果が反映されたものと思っており、大変感謝申し上げます。

なお、この結果は、9月末の結果集計であり、3月末の結果の様式を国から送付されるのを待っており、届き次第、3月末の結果を

6月からはこのような感じで班編成をしていきたいと計画しております。基本的に川内地区は三班体制になったり二班体制になったりしますが基本的にこの順番で調査をしていければと思っております。

また祁答院地域におきましては白丸の人が現地調査の発表者ということで見ていただければと思います。甑地域においては申請がありましたら事務局のほうからご案内させていただきますので宜しくお願いいたします。

基本的にこの順番で回していきませんが、どうしても都合の悪ければ事務局のほうに電話などいただければ変更することも可能です。

この順番で現地調査を回していきますのでご協力ください。

梶原主幹 続きます、6月行事予定(案)について説明いたします。お手元に配付しております行事予定(案)をご覧ください。

まず、現地調査ですが、12日(月)が本土川内地域、9日(金)が本土4支所の予定です。調査員は記載のとおりです。

また、議案提出状況により調査コース、時間等の調整を事務局で行い連絡いたします。甑地域におかれましても、同様に調整をお願いします。

本庁班は、午前8時10分までに農業委員会事務局にご集合ください。

支所班は、各支所で集合解散とし、いずれも午前中までには終了予定です。

それから、下段に記載の6月総会は6月26日(月)午後1時から、樋脇公民館を予定しています。

裏面は6月から8月の行事予定を記載してあります。

7月20日には、毎年実施している農業者年金推進会議及び利用状況調査を国際交流センターで13時からの開催予定となっております。

その他の行事は今後の予定等にお役立てください。

議長 ただ今、事務局の説明が終了しましたが、この件についてご質問、ご意見等はございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議長 そのほかに、事務局から何かございませんか。

事務局 ありません。

議 長 それでは、全体的に何かございませんか。

委 員・推進委員 (なしの声あり)

議 長 ないようですので、これをもちまして第2回薩摩川内市農業委員
員会総会を閉会いたします。

局長代理 皆さん、ご起立下さい。一同礼。ご着席ください。

「閉 会」

【終了 14 : 45】